

本一かわら版

親睦バス旅行の開催報告

本所一丁目町会長 鈴木慎太郎

いつも町会行事にご協力頂き誠にありがとうございます。今年度もよろしく願います。

去る六月三日(土)、親睦バス旅行を開催いたしました。総勢五十名が参加し、楽しく一日を過ごし親睦を深めました。

本一町会では従来、部会ごとに旅行を企画実施してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、しばらくは旅行を含めた会合の開催を控えておりました。感染状況も収束の方向となり、人の集まる行事も再開し始めています。旅行は久しぶりの事でもあり、秋の牛嶋神社の大祭に向けて世代や性別を超えて町全体の一体感を計ろうと、女性部、白寿会、睦会も合同で町会全体での開催と致しました。

ちようど本年は、成田山新勝寺に参る睦会の東京一講が百回目の団参を迎えるので、これに合わせて、成田山新勝寺にて護摩祈禱を受け、筑波山に移動して昼食を取り、道の駅「しもつま」に寄って帰るコースに致しました。

前日からの大雨が朝まで続き、あいにくの天気の中での出発となりましたが、車中「雨男、雨女は誰だ？」などと言合う顔は晴れやかでした。強い雨の中、新勝寺に到着しました。本年は弘法大師生誕千二百五十年にあたり、特別な護摩炊きが荘厳に行われました。本一の一行は護摩壇のすぐ脇の席で様子がよく見え、あたかもアリーナ席の趣でした。筑波山に向かううちに空は嘘のように晴れ渡りましたが、高速道路は一部通行止めで、田んぼの中をのんびりとバスの旅を楽しみました。筑波山神社にほど近い温泉旅館江戸屋の宴会場で、揃ってゆっくりと昼食をいただきました。頭の野中さんの木遣のご披露もあり、和やかなひと時を過ごしました。

各会合同の機会に、初めて話す人がいたり、高齢の方に若い方が手を貸したり、これからの町会の姿を見るようでした。次の機会にはまた多くの町会員のご参加をお待ちしています。

令和5年6月号
(第50号)
発行：一丁目町会
本所責任者：全克
発行責任者：雅美
編集：原内 福竹
編集：福竹 福竹

令和五年度

本所一丁目町会定時総会について

村木 良行

去る五月二十七日(土)、本所地域プラザ(BIGSHIP)一階において、令和五年度本所一丁目町会定時総会が実施されました。岩野総務の司会で、神野副会長の開会の言葉で始まりました。鈴木町会長は冒頭のあいさつで、コロナが収まりつつある中で、町会行事を前向きに進めていく旨、その抱負を述べられました。

町会長を議長に選出後、以下各役員により、令和四年度事業報告、決算報告、町会会館決算報告並びに監査報告がなされました。また同様に令和五年度事業案、予算案の発表も行われました。

中村白寿会会長あいさつの後、役員改選が行われ、新規に中村桂一、黒田真左恵(副会長)、中尾聡(総務)、多根義剛(監査)、小河原豊(育成部長)の各氏が就任されました。

その後、感謝状贈呈式が行われ、町会長より、花守チームを代表して飯島矢素夫氏が、また本所囃子の継承について齋藤行雄氏が表彰されました。

最後に山中副会長の閉会の言葉があり、引き続き懇親会が行われました。



令和五年度 町会行事予定

町内夜警 日時 七月・八月・十一月

* 防災部・育成部合同での夜警

* 役員による歳末夜警は、十二月二十七日(水)～二十九日(金)

隅田川花火大会 日時 七月二十九日(土)

牛嶋神社敬老祭 日時 九月十五日(金)

牛嶋神社大祭 日時 九月十五日(金)～九月十八日(月・祝)

敬老の日 日時 九月十八日(月・祝)

秋の全国交通安全運動 日時 九月二十一日(木)～三十日(土)

場所 本所一丁目交差点

若宮公園清掃 日時 九月九日(土)、二十三日(土)

十二月九日(土)、二十三日(土)

防災訓練 日時 十一月

場所 外手小学校校庭

もちつき大会 日時 十二月

場所 本所地域プラザ前

初詣 日時 一月三日(水)

場所 牛嶋神社

新年会 日時 一月

場所 本所地域プラザ

成人の日 日時 一月八日(月・祝)

初地蔵 日時 一月

場所 タンポポ公園

節分会 日時 二月三日(土)

場所 本所一丁目会館



育成部長就任のご挨拶



小河原 豊

このたび、中尾さんの後任として育成部長を拝命した小河原豊と申します。本所一丁目の住人になってから十五年目を迎えました。名前の豊から「豊かな人生は人との出会いから」を座右の銘として日々生活しております。

仕事柄全国各地の地域活性化に携わらせていただいておりますが、一部の大都市を除き、人口減・少子高齢化により文化どころかライフラインも維持する事が困難な状況にある地方は本当に多くあります。墨田区も二〇三〇年から人口減・少子高齢化が一気に進むと予測されております。本所一丁目は人々の絆と想いが強く、誇れる文化・安心安全な治安が形成されており、これらを次世代に残すには、私と同じような新規流入住民の地域コミュニティ参加率を上げ、老若男女・既存新規住民問わず、コミュニケーションをはかる機会を増やし、面倒な事・楽しい事を共有する事により、いざという時に子供達が避難できる場所を増やし、みんなが躊躇なく「SOS」を出せる関係性になることが第一歩であると考えております。

コロナで三年の空白があり、私も含め育成部幹部は経験がほとんどないメンバーです。至らない点は多々あると思いますが、街の為・子供達の為に尽力してまいりますので、お気づきの点等ございましたら遠慮なくお願いいたします。

今年は大祭です。皆様と一緒に活動できる事を楽しみに、まずは今年一年よろしくお願いたします！

成田山新勝寺参詣バス旅行

東京一講・本一睦会 岡崎修一

コロナ禍の自粛生活も緩和され、いろいろな活動が出来るようになりました。

平成二十七年より休講していましたが「東京一講」を再開したいと思い、町会に相談したところ日帰り旅行に絡めて一緒に行いましょうという事になりました。「東京一講」の始まりは一九〇二年五月一日（明治三五年）と聞いており、大変な歴史のある講で諸先輩たちが引き継がれて今日に至っております。休講前までは睦会が講元になり毎年二月に節分会、そして五月に成田山に参詣しておりました。

さて、日帰り旅行ですが六月三日（土）雨が降る生憎な天気でしたが、参加者五十名がバス二台に分乗しビックシッブ前を予定通り八時に出発しました。成田山新勝寺の駐車場に到着し雨で足元の悪い中、皆で本堂へと向かいました。祈祷が始まり大太鼓の大きな音が鳴り響き、御護摩の炎の前に各々願い事が成就するよう祈願されていたことと思います。今年も弘法大師空海の誕生一二五〇年記念大祭という事で大塔婆が建立されておりました。この大塔婆に結ばれている御手綱に触れてお参りすることは大師様のお手に触れているのと同じという事で、私も触れてお参りしてきました。

大雨の影響で高速道路が通行止めになってしまったので、時間を繰り上げ、早めに成田山を出発し、昼食場所である筑波山の温泉旅館江戸屋に向かいました。旅館は筑波山の麓、筑波山神社のすぐ近くにあり、雨上がりの美しい木々に囲まれたとてもいい場所でした。途中雨も上がり美味しい和食を堪能し、締めは頭の野中さんに木遣りを披露していただきました。帰りは下妻の道の駅に寄り新鮮な野菜や果物などお土産を購入し、その後渋滞もなく予定通りにビックシッブ前に無事到着しました。残念ながら悪天候で成田山ではゆっくりできませんでしたが、参加者皆さん満足された様子で「次回も是非」というお声掛けを頂きながらの解散となりました。

最後に今回企画を立ててくださった町会役員さんをはじめ、車中の飲み物やお菓子などの事前準備をしてくださった女性部の皆様、そして差し入れやご寄付をしてくださった方々に感謝を申し上げます、成田山参詣バス旅行の報告とさせていただきます。



隅田川テラスの花壇

春・夏の花が植えられました

本所一丁目花守チーム一同

本所一丁目町会の事業である隅田川テラスの花壇への花植え事業は、東京都公園協会の事業に協力する形で行われています。町会では有志の方の協力を得て「本所一丁目花守チーム」を結成して、厩橋たもとの下流側花壇（長さ約三十メートルの花壇二か所）の管理に協力しています。現在は、この花守活動に三十九名の方々に協力していただいております。

花植え作業は、五月二十四日（水）午前に行われました。今後は、水やり、花ガラ取り及び雑草の除去等を行う予定です。今回は、東京都公園協会に希望申請した四種類の花（アゲラタム、ペントス、カプシウム、アンゲロニア）合計約一二〇〇株を植えました。

この事業の大きな目的は、隅田川の流域の快適性の確保と環境美化にあると思います。テラスを通行する多くの方々が見て心がなごみ、気持ち良く活動でき更に地域に愛着を持っていただけるように、花の配置等を工夫してバランス良く定植してあります。皆様がテラスを通行する際にはぜひご覧いただければ幸いです。



皆さんで協力して、きれいに定植しました。



晴天に恵まれ、29名の方が参加されました。



カプシウムとアンゲロニアを植えました。



アゲラタムとペントスを植えました。

奉納踊りを沢山のひと!!

安川依律子

大祭奉納踊りは十年ぶりのマツケンサンバを踊ります。本所魁太鼓ではキラキラテープで装飾したマツケン棒を沢山作りました。

十年前にこの棒を手に持ち、マツケンサンバを踊って大盛り上がりしたあの名場面の復活です。お楽しみに！ステッパは単調で一斉にお尻をクイッククイックと振る振り付けは可愛くてつい笑えます。ただいくら踊りが単調でも全く知らないで踊ると、振付けを知っていて踊るのでは雲泥の差です。楽しく弾むステッパと一緒に踊りましょう。

（問合せ：安川 3023-5744）

お祭りと言えば先月長年一緒にお祭りを盛り上げてくれた祭りに欠かせない人、鰻屋「つく梅」の清一さんが六十五歳の若さで他界しました。愉快な方で、その話術は何でも笑いに変える天才でした。人情の熱い根っからの下町男でした。一昔前盆踊りを一緒に踊るタイミングが訪れました。リズム感の良い絶妙のタイミングで入れる彼の「チョイトな」、この合いの手が大好きでした。この一声で同じ曲でも全く違った名曲になります。あの時新宿歌舞伎町まで一緒に「相馬盆唄」を踊りに行きました。私達は観衆を魅了する清ちゃんの楽しい踊り方を真似て大笑いしてきたことを思い出します。周りを明るく巻き込む、本当に素敵な人でした。生前に言えなかったことが悔やまれます。清ちゃんには私のお祭りの相棒で最高の親友でした。今年の大祭大成功するように見守っていてね。「相馬盆唄」踊るからね。

